

地域をつなぎ、世代をつなぎ、
時代をつなぎ、未来を創る

岩手県議会議員

佐々木 のぶかず



いつも皆様には、温かいご支援ありがとうございます。
2月定例会が3月25日の最終本会議を持って終
わりました。今定例会におきましては令和2年度
の補正予算、そして令和3年度の当初予算を審議
する非常に重要な議会でした。
新型コロナウイルス対応、東日本大震災津波か
らの復旧復興に関しては国の復興創生期間10年間
が終わり新たなフェーズに入ること、また岩手県
が向き合う人口減少という問題において、今回県
立高校再編後期計画最終案が示されました。
今にしっかりと向き合い対応しながらも将来の
希望を創るために、皆様の声をしっかりと県に、国
に届けて参りますので引き続きご指導ご鞭撻賜り
ますようによろしくお願いいたします。

岩手県議会議員 佐々木 宣和

PROFILE

岩手県議会：総務委員会副委員長、産業振興・雇用対策 調
査特別委員会委員、東日本大震災復興特別委員会委員、
自由民主党岩手県支部連合会：広報委員長、青年局長、
その他役職：全国林業改良普及協会副会長、岩手県生活衛
生同業組合中央会顧問、岩手県 KB 野球連盟会長
昭和 58 年 11 月 23 日生まれ 37 歳。岩泉小中、盛岡一高、
早稲田大学理工学部卒業。座右の銘：自彊不息 資格：防災士

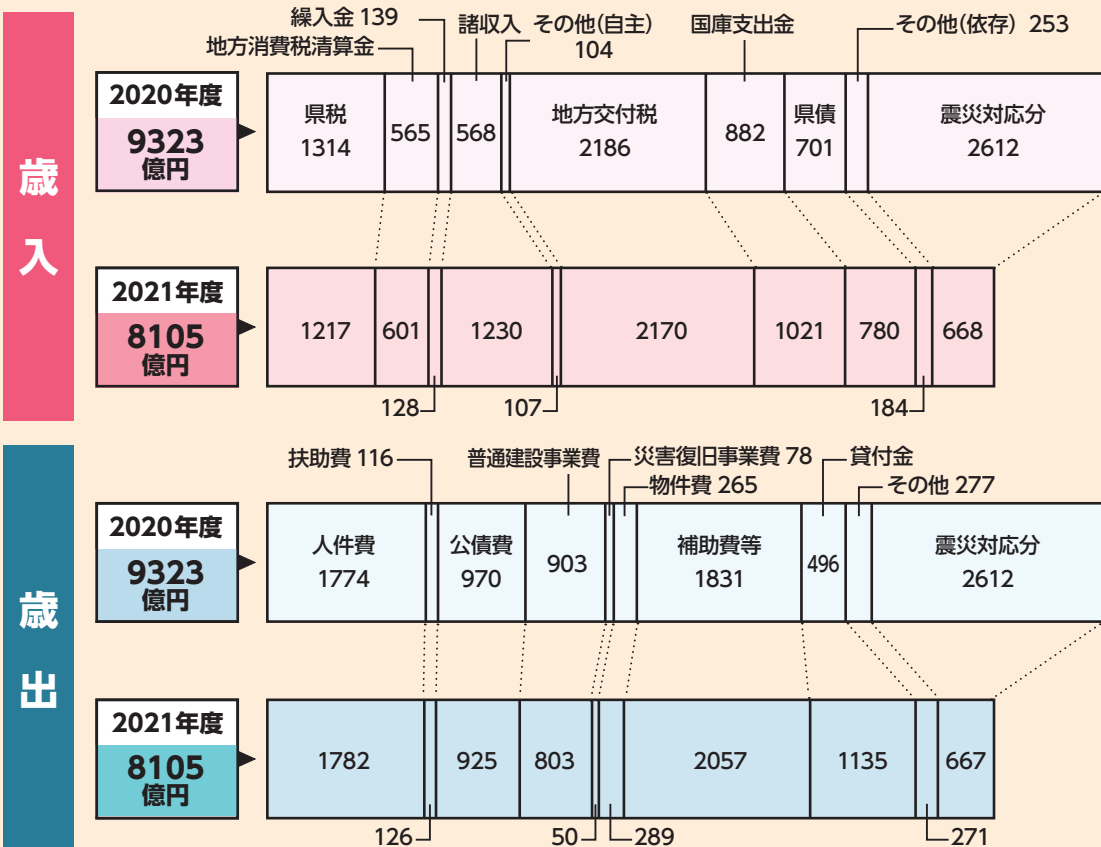
県令和3年度予算が成立

総額 8105 億円 [1218 億円 (13.1%) 減少]

- 新型コロナ対策 959 億円
- 震災対応分 667 億円 [1945 億円 (74.4%) 減少]
- 県税収入 1217 億円 [97 億円 (7.4% 減少)]

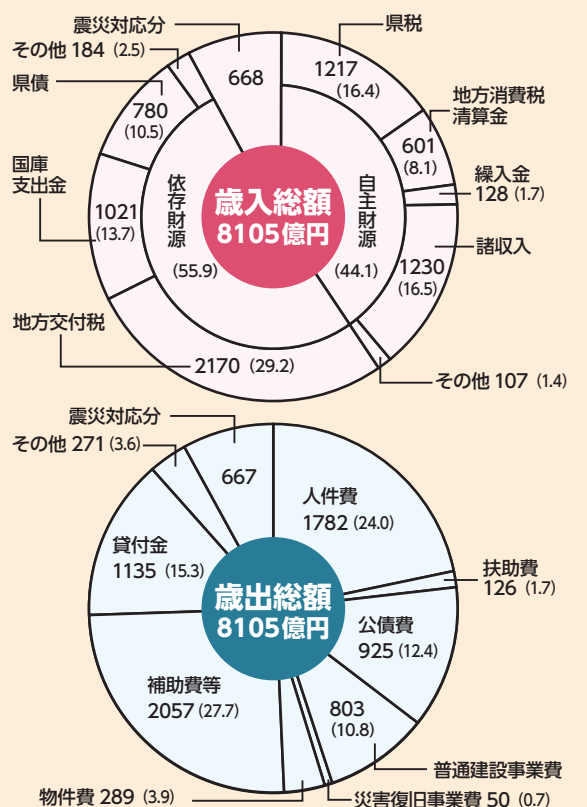
【岩手県】2020年度と2021年度一般会計予算案の比較

数字は億円。1億円未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合がある。



2021年度 岩手県一般会計当初予算案

数字は億円。カッコ内は構成比%。金額は1億円未満を、比率は小数点2位をそれぞれ四捨五入しているため、合計が合わない場合がある。



新型コロナウイルスワクチン接種について

1. 医療従事者向けワクチンの接種について

配給スケジュール

- (第1弾) ① 3月6日 : 5箱 (4,875 回分)
 ② 3月8日の週: 5箱 (4,875 回分)
 ③ 3月22日の週: 5箱 (4,875 回分)
 ④ 3月29日の週: 5箱 (4,875 回分)

計 20箱 (19,500 回分)
 [9,750 人分]

※ (195バイアル/箱) 1バイアル5回分として算定

【接種対象者】 新型コロナ患者入院医療機関のうち、これまでの受入実績を考慮し、接種実施医療機関を選定

【接種開始】 ワクチンが到着次第、順次接種を開始

【今後の接種体制】 ・第1弾については、ワクチン配給量を踏まえ、集団接種は実施せず各接種施設での個別接種により対応する。
 ・第2弾以降については、国から配給量等が示され次第、配給量等に合わせた体制により接種を実施する。

2. 高齢者向けワクチンの接種について

配給スケジュール

- (第1弾) ① 4月5日 : 2箱 (1,950 回分)
 (第2弾) ② 4月12日の週: 10箱 (9,750 回分)
 (第3弾) ③ 4月19日の週: 10箱 (9,750 回分)
 (第4弾) ④ 4月26日の週: 33箱 (32,175 回分)

計 55箱 (53,625 回分)
 [26,812 人分]

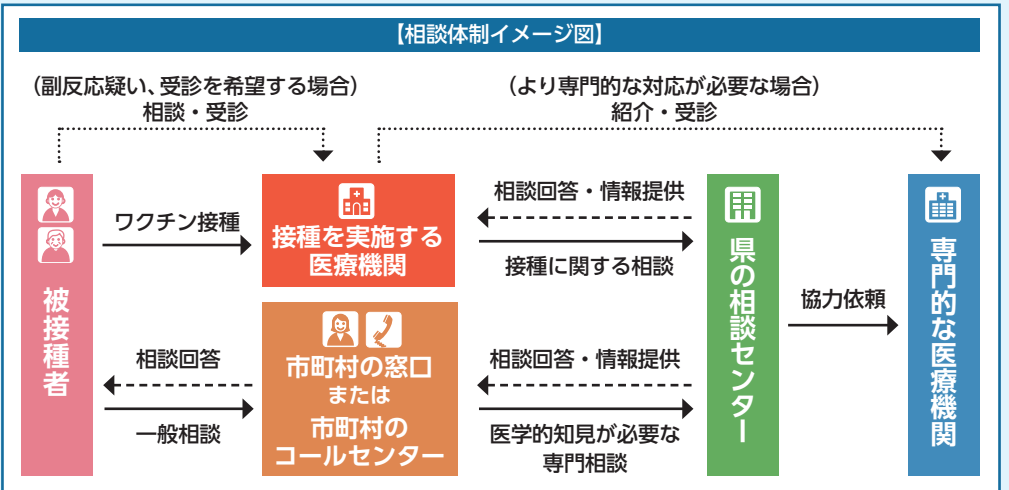
(※ 県内高齢者数 40.6万人(令和2年10月1日現在))

【今後のスケジュール】 4月12日(月)接種開始

3. その他の取組状況

(1) 相談体制の確保

- ア 県: 医学的知見が必要な相談に対応する相談センターを設置
 イ 市町村: 予約受付や接種会場等に関する一般相談に対応するコールセンター等



(2) 副反応等への対応

- かかりつけ医等: 副反応を疑う症状についての受診
 専門的な医療機関: かかりつけ医等で対応できない入院治療等に対応できる医療機関を県が委託し対応

(3) 市町村の接種体制構築に係る県の支援

- ア 共同接種の実施
 市町村間の調整、医療従事者派遣等の調整による支援
 イ 医療従事者確保
 医療圏を越えた派遣調整、県任用職員(看護師)の派遣応援による支援

(4) ワクチン移送業務の委託

- 医療機関の負担を考慮し、基本型接種施設から連携型接種施設へのワクチン配送を配送業者へ委託
 ア 県からの委託により、医療従事者向け接種で実施
 イ 市町村での実施に係る契約事務等を支援(県での委託契約の情報提供等)

環境福祉委員会資料
 令和3年3月4日
 保健福祉部医療政策室

新型コロナウイルス感染症対策～商工関係の支援策について～

ポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会の変化に対応するための 企業の思い切った事業再構築を支援 (中小企業等事業再構築促進事業)

● 令和2年度第3次補正予算で1兆1485億円が計上 ● 補助金の公募は、1回ではなく、令和3年度内に複数回実施予定がございます。

国の支援事業

新分野展開や業態転換、事業・業種転換等の取組、事業再編又はこれらの取組を通じた規模の拡大等を目指す、以下の要件をすべて満たす企業・団体等の新たな挑戦を支援します!

対象

- 申請前の直近6か月間のうち、任意の3か月の合計売上高が、コロナ以前の同3か月の合計売上高と比較して10%以上減少している中小企業等。
- 事業計画を認定経営革新等支援機関や金融機関と策定し、一体となって事業再構築に取り組む中小企業等。
- 補助事業終了後3～5年で付加価値額の年率平均3.0%(一部5.0%)以上増加、又は従業員一人当たり付加価値額の年率平均3.0%(一部5.0%)以上増加の達成。

中小企業

通常枠 補助額 100万円～6,000万円 補助率 2/3
 卒業枠* 補助額 6,000万円超～1億円 補助率 2/3

*卒業枠:400社限定。事業計画期間内に、①組織再編、②新規設備投資、③グローバル展開のいずれかにより、資本金又は従業員を増やし、中小企業から中堅企業へ成長する事業者向けの特別枠。
 ※中小企業の範囲については、中小企業基本法と同様。

中小企業等事業再構築促進事業の活用イメージ

飲食業

喫茶店経営
 → 飲食スペースを縮小し、新たにコーヒー豆や焼き菓子のテイクアウト販売を実施。

飲食業

居酒屋経営
 → オンライン専用の注文サービスを新たに開始し、宅配や持ち帰りの需要に対応。

飲食業

レストラン経営
 → 店舗の一部を改修し、新たにドライブイン形式での食事のテイクアウト販売を実施

県の支援事業

【地域企業経営支援金支給事業費補助】

感染症対策に取り組みながら事業を継続し、売上が前年同月比で50%以上減少又は連続する3か月の売上の合計が前年同期比で30%以上減少している中小企業者等に支援金を支給

【支給額】 上限40万円/店舗等

※中小法人等200万円、個人事業者100万円を限度

【連絡先】 県庁 経営支援課 TEL 019-629-5547

※ 8:30～17:15 (土日祝除く)

【三陸観光バス運行支援事業費補助】

旅行会社が三陸地域を周遊する観光バスを運行した場合に要する経費を支援

【補助上限額】 1台1運行当たり5万円(三陸地域への宿泊あり)
 1台1運行当たり2万円(三陸地域への宿泊なし)

【連絡先】 県庁 観光・プロモーション室 TEL 019-629-5573

※ 8:30～17:15 (土日祝除く)



事業再構築補助金についての詳しい内容はこちらから

https://www.meti.go.jp/covid-19/jigyosai_koutiku/pdf/summary.pdf?0215

LINEでも情報を発信しています。ご登録は右記QRコードから!

岩手県議会議員 佐々木のぶかずのLINE公式アカウントを開設いたしました!



台風 10 号からの復旧復興

復旧復興事業の状況について

1 小本川河川改修事業 (R3.1月末時点) ○ 現在の状況と今後の予定

(1) 助成事業 (事業完了年度 令和 4 年度を目指す)

- ① 用地買収及び物件補償の契約状況 …… 約 91% (R3.1月末時点)
- ② 工事進捗状況等 …… 整備率 約 26%
(護岸及び河道掘削の延べ延長に対する整備率: R2.12月末時点)
- ③ 今後の発注予定 …… 橋梁上部工 2 橋 (山五橋、本陳沢橋) は令和 3 年度に発注予定

(2) 激特事業 (事業完了年度 令和 4 年度を目指す)

- ① 用地買収及び物件補償の契約状況 …… 約 96% (R3.1月末時点)
- ② 工事進捗状況等 …… 整備率 約 30%
(護岸及び河道掘削の延べ延長に対する整備率: R2.12月末時点)
- ③ 今後の発注予定 …… 橋梁上部工 2 橋 (泉橋、下の橋) 及び長内川樋門は令和 2 年度末に発注予定

2 安家川河川改修事業 (R3.1月末時点) ○ 現在の状況と今後の予定 (事業完了年度 (上流) 令和元年度、(中流・下流) 令和 3 年度を目指す)

- ① 用地買収及び物件補償の契約状況 …… 約 99% (R3.1月末時点)
- ② 工事進捗状況等 …… 整備率 約 48% (護岸及び河道掘削の延べ延長に対する整備率: R2.12月末時点)
- ③ 今後の発注予定 …… 橋梁上部工 2 橋 (泉橋、下の橋) 及び長内川樋門は令和 2 年度末に発注予定

3 砂防事業 (R3.1月末時点)

(1) 災害関連緊急砂防事業 (災関)

- 事業箇所 …… 11 箇所
- 完 成 …… 10 箇所 [三田貝の沢 (11)、釜津田沢、釜沢 (2)、松橋の沢 (5)、三田貝の沢 (7)、伏屋の沢、三田貝の沢 (9)、大久保の沢、上乙茂の沢 (4)、唐地の沢 (3)]
- 工 事 中 …… 1 箇所 [大平の沢]

(2) 砂防激甚災害対策特別緊急事業 (激特)

- 事業箇所 …… 14 箇所
- 工 事 中 …… 13 箇所 [大沢 (11)、大沢 (7)、大沢 (6)、大沢、大沢 (2)、大沢 (8)、松橋川、南三田貝の沢 (2)、松橋の沢 (6)、下町の沢 (2)、松橋川本町の沢、松林の沢 (新)、松林の沢 (4)]
- 未 着 手 …… 1 箇所 [本銅口の沢]

4 道路災害復旧 (R3.1月末時点)

(1) 災害関連緊急砂防事業 (災関)

- 工事箇所 …… 141 箇所 完了 …… 129 箇所 未完成 …… 12 箇所 [普代小屋瀬線 (半城子ほか (4)、松ヶ沢の 4 ほか (8))]

水防災意識社会に向けた取り組み状況等について 令和 3 年 1 月末時点の状況 (時点更新)

1. 水位周知河川の指定

現状 312 河川のうち、40 河川 49 区間 が指定。台風で被災した小本川、安家川は H29 に指定済み。2018 年度は 閉伊川 (宮古市)、普代川 (普代村) に指定済み。また、2021 年度においては 刈屋川 (宮古市)、長沢川 (宮古市) が指定予定。

河川監視カメラに関しては

- 【岩泉町】 小本川 (赤鹿)、安家川 (日陰) 【宮古市】 閉伊川 (千徳)、津軽石川 (新町)
- 【山田町】 関口川 (山田) において平成 30 年 3 月から映像配信がスタート。

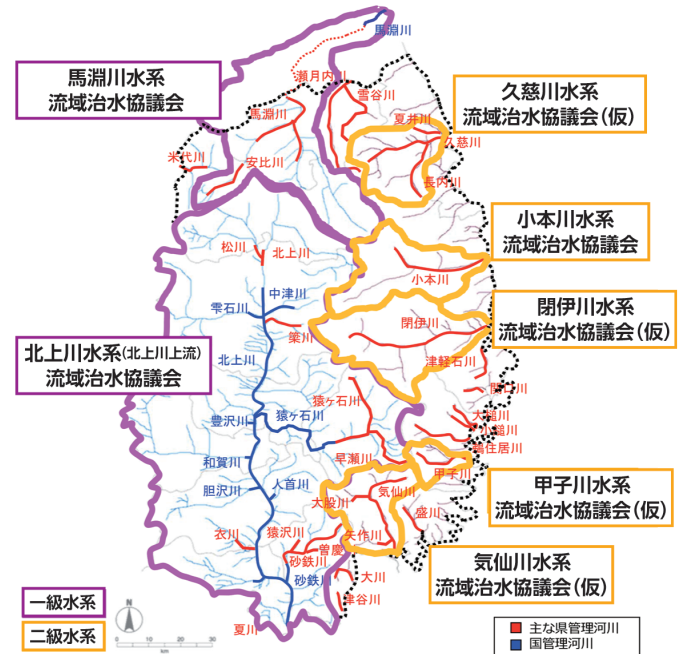
易型河川監視カメラ^{※1}に関しては

- 【岩泉町】 小本川 (ふれあい橋、穴沢)、大川 (下町)、安家川 (新橋)
 - 【田野畑村】 普代川 (子木地) 松前川 (松前川)
 - 【宮古市】 閉伊川 (宮古中央 IC)、茂市、川井、川井 (上流)、長沢川 (田鎖橋)、刈屋川 (繋の木橋)
 - 【山田町】 津軽石川 (豊間根)、関口川 (関谷)
 - 【普代村】 普代川 (普代、普代村羅賀)
- など、県内 68 河川 114 箇所に設置し、令和 2 年 6 月から映像配信がスタート。既設のカメラと合計すると、現在 69 河川 148 箇所、画像情報提供箇所数は従前の 4 倍以上に。

河川監視カメラの画像閲覧は「岩手県河川情報システム」で検索! ▶▶▶

※1ズームや首振り機能を削除し、静止画のみの伝送とするなどして設置コスト、ランニングコストを抑えた監視カメラ

岩手県河川情報システム



2. 浸水想定区域の指定

現状 29 河川が指定 (うち想定最大規模 24 河川)。基本方針は、

- ① 水位周知河川に指定済の河川において、5 カ年で 15 ~ 20 河川の指定
 - ② 北上川水系の県管理河川は、国管理河川の指定との連続性を確保し、①にπ加え 10 河川
- 2017 年度は 1 河川、2018 年度は岩泉の 小本川 を含む 14 河川、2019 年度は 5 河川、2020 年度は山田の 関口川 を含む 4 河川を指定済み。宮古の 閉伊川 及び宮古・山田の 津軽石川 を含む 8 河川も指定予定。2021 年度は岩泉の 安家川、普代の 普代川 及び宮古の 刈屋川・長沢川 を含む 12 河川を指定予定、指定後は、説明会を開催し、消防団や地域住民の皆様へ指定の内容について説明の上、地域の災害リスクへの理解を得るように取組む。

3. 水位計の設置

現状 73 河川 134 箇所に設置済み。

- ① 通常的水位計については、2017 年度は 小本川 (岩泉町)、刈屋川 (宮古市)、長沢川 (宮古市) を含め 4 箇所に設置済み、2019 年度は 3 箇所に設置済み、2020 年度は 普代川 (田野畑村)、大川 (岩泉町) に設置予定。2021 年度は 田代川 (宮古市) を含め 2 箇所に設置予定。
- ② 危機管理型水位計 (設置コスト、ランニングコストが安く、洪水時に特化した水位計) については、県内 260 河川 325 箇所に設置し、令和元年 5 月から運用を開始。水位観測箇所数は従前の 3 倍以上に。

4. タイムラインの作成

台風の接近・上陸に伴う洪水を対象とした、避難勧告の発令等に着目したタイムライン (防災行動計画) は、令和 3 年 2 月 3 日、作成が必要な全ての市町村で作成が完了し、28 市町村で運用を開始。

5. 河道掘削・立ち木伐採

実績 (平成 29 年度から令和元年度末まで)

- ・河道掘削 114 河川のうち 60 河川で着手済み。・立ち木伐採 74 河川のうち 40 河川で着手済み。

河川の防災減災に対する国と県の動き

平成 27 年 9 月	関東・東北豪雨災害での鬼怒川の氾濫
平成 27 年 12 月 11 日	水防災意識社会 再構築ビジョンを策定 (国交相)
平成 28 年	台風 10 号災害が発生
	中小河川も含めた全国の河川で「水防災意識社会」の再構築に向けた取組が加速化
平成 29 年 6 月 19 日	「大規模氾濫減災協議会」制度の創設をはじめとする「水防法等の一部を改正する法律」が施行
平成 29 年 6 月 20 日	「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画を国土交通省としてとりまとめ
	三陸圏域大規模氾濫減災協議会が開催、5 カ年の取り組み方針を決定
平成 30 年度~	国土強靱化緊急 3 カ年事業がスタート
平成 30 年 7 月	平成 30 年 7 月豪雨
平成 31 年 1 月 29 日	「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画を改定 (国交相)
令和 2 年 7 月	社会資本整備審議会の答申「流域治水」への転換の必要性が示される
	県管理の 2 級河川においてはモデル河川 (5 河川) を選定し、流域協議会を進める方針が決定
令和 3 年 2 月 5 日	小本川水系についての流域治水協議会を開催し「流域治水プロジェクト」を取りまとめ。詳しくは ▶ https://www.pref.iwate.jp/engan/iwa_doboku/1037002/1037003/index.htm
令和 3 年度中	その他 4 水系については流域治水協議会の設置及び「流域治水プロジェクト」の公表を目指し作業を進めているところ

台風19号からの復旧復興

普代の沢砂防事業 (岩手県下閉伊郡普代村) [R030219 県北土木]

○ 事業目的

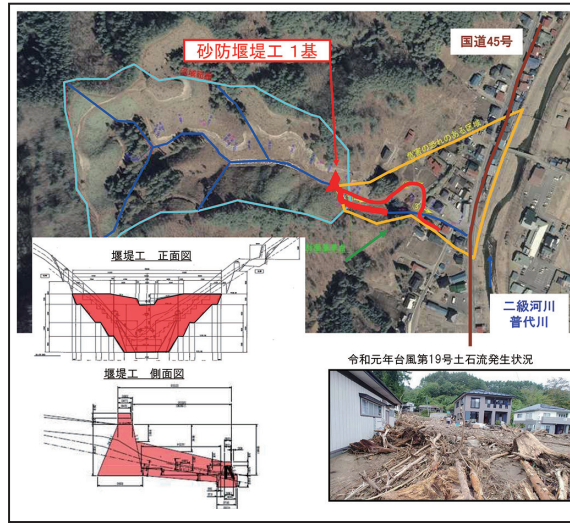
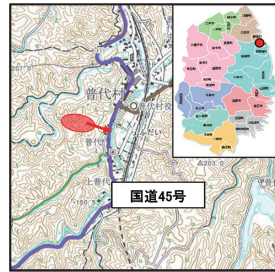
普代の沢は、2級河川普代川水系の土石流危険渓流であり、令和元年10月の台風第19号豪雨により土石流が発生し、下流域の住宅地に甚大な被害が発生した。

渓流にはまだ不安定な土砂が残っており、再度災害防止のため土石流対策の目的として砂防堰堤工事を実施するものである。

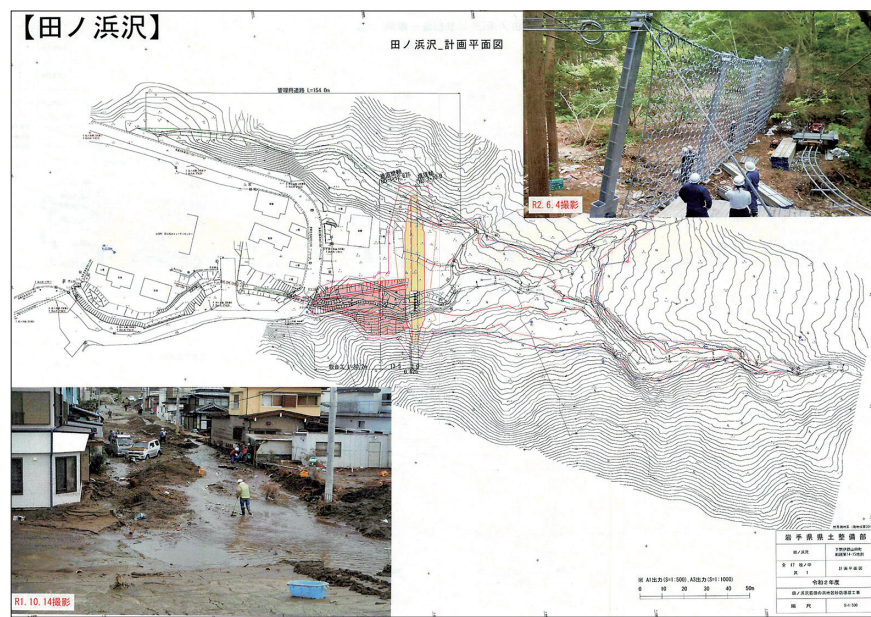
○ 工事概要

工事名：普代の沢筋砂防堰堤工事
 工事場所：下閉伊郡普代村普代地内
 工事概要：堰堤長 29m 堰堤高 10.5m
 本堤 1,115㎡ 垂直壁 176㎡

工事費：198,066,000円
 工事契約日：令和3年2月22日
 工期：令和3年2月24日
 ～令和4年7月12日(3ヶ年債務工事)



山田町・田ノ浜沢・田ノ浜沢3・船越の沢・大浦の沢の進捗と今後の予定



進捗状況及び今後の予定 (R1 台風第19号関連 砂防事業) (R3.1.28 現在)

● 測量調査設計 ● 用地補償 ● 工事 ● 設計

地区名	現在までの進捗状況	今後の予定
田ノ浜沢 (部分透過型砂防堰堤 1基 L=67m、H=10.5m) (事業費 517,714 千円)	● 実施済み ● 用地測量調査実施中 (R3.2 完了予定) ● 応急対策済み (R2.6 強靱ワイヤーネット) ● 工事発注済み (工期 R2.10.20 ~ R4.4.6)	● 用地補償契約 (R3.3 完了予定) ● 現地着手 R3.4 ~ ● R5 年度末完成予定
田ノ浜沢(3) (部分透過型砂防堰堤 1基 L=119m、H=11m) (事業費 832,252 千円)	● 実施済み ● 用地測量調査実施中 (R3.1 完了予定) ● 応急対策済み (R2.8 強靱ワイヤーネット) ● 工事発注済み (工期 R2.10.14 ~ R4.7.22)	● 用地補償契約 (R3.3 完了予定) ● 現地着手 R3.4 ~ ● R5 年度末完成予定
船越の沢 (透過型砂防堰堤 1基 L=39m、H=9m) (事業費 281,590 千円)	● 実施済み ● 契約事務手続中 (R3.1 完了予定) ● 応急対策済み (R2.5 大型土のう) ● 工事発注済み (工期 R2.10.9 ~ R3.9.24)	● 現地着手 R3.3 ~ ● R5 年度末完成予定
大浦の沢(3) (検討中)	● 全体事業計画書作成中 (R3.3 完了予定) ● - ● -	● 国との全体計画協議 (R3.5 予定) ● R4 年度新規事業採択を目指す(事業期間 R4 ~ R8 予定) ● R4 年度は測量設計を実施予定

全県的な土砂災害対策状況について

(1) 施設整備率 (令和3年3月末見込)

	砂防	地すべり	急傾斜	計
① 土砂災害危険箇所数	7,198	191	6,959	14,348
② うち要整備対象箇所数	2,204	191	1,599	3,994
③ うち既成箇所数	215	17	289	521
④ 施設整備率 (%)	9.8%	8.9%	18.1%	13.0%

(2) 土砂災害警戒区域等の指定状況 (令和3年1月末時点)

	土砂災害が発生するおそれのある土地の区域数 (土砂災害警戒区域等に相当する範囲)	土砂災害警戒区域等指定数	区域指定率 (%)
急傾斜	6,803	4,532	66.6
地すべり	165	69	41.8
土石流	6,348	4,161	65.5
計	13,316 箇所	8,762 箇所	65.8%

全県的な台風19号災害復旧状況について

公共土木施設 (令和3年1月末時点)

公所名	全体	工事着手	完成
県施設	189 箇所	183 箇所 (96.8%)	82 箇所 (43.4%)
市町村施設	695 箇所	582 箇所 (83.7%)	235 箇所 (33.8%)
計	884 箇所	765 箇所 (86.5%)	317 箇所 (35.9%)

国土強靱化

国土強靱化の取り組みは10年を迎えます、3月末日には「防災減災、国土強靱化のための3ヵ年緊急対策」の期限が切れます。自民党国土強靱化推進本部では、緊急対策終了後の令和3年度以降も、激甚化・頻発化する自然災害から国民の生命や暮らしを守り抜けるよう、議論を重ね、令和2年6月と11月にそれぞれ緊急決議を政府に申し入れました。政府は12月11日、「防災・減災国土強靱化のための5ヵ年加速化対策」を閣議決定しました。災害に屈しないふるさとを作るため国の政策に連動し、しっかりと使えるものを使いながら取り組んでまいります。

防災・減災、国土強靱化のための「5ヵ年加速」対策【内訳】

【対策数】125 対策 【事業規模】1兆円程度 【期間】5年(令和3～7年度)

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震への対策

78 対策
おおむね 12.3 兆円程度

2 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策

21 対策
おおむね 2.7 兆円程度

3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進

24 対策
おおむね 0.2 兆円程度

岩手県では二つの計画を策定しており、一つはいわて県民計画(2019~2028)であり大きく復興の推進、10の政策分野に基づく施策の推進、新しい時代を切り開くプロジェクトの推進、広域振興局の施策の推進の4つです。もう一つの計画はいわゆる地方創世に関わる総合戦略でふるさと振興の推進となります。

令和3年度 当初予算における主な取組

◎: 新規
○: 一部新規
・: 継続

1 いわて県民計画(2019~2028) 関係

(1) 復興の推進

I 安全の確保

- ・広域防災拠点設備等整備費(11.6百万円)
- ・河川等災害復旧事業費(3,376.4百万円)
- ・港湾災害復旧事業費(1,343.6百万円) 他

II 暮らしの再建

- ◎被災者生活支援事業費(40.2百万円)
- スクールカウンセラー等配置事業費(166.2百万円)
- ・被災児童対策事業費(59.0百万円)
- ・被災地こころのケア対策事業費(411.4百万円)
- ・被災地コミュニティ支援コーディネート事業費(15.2百万円) 他

III なりわいの再生

- ◎沿岸地域起業家等成長支援事業費(11.6百万円)
- ◎水産加工・福祉連携アドバイザー派遣事業費(0.5百万円)
- ・さげ、ます増殖費(393.6百万円)
- ・地域基幹産業人材確保支援事業費(16.8百万円) 他

IV 未来のための伝承・発信

- いわての復興教育推進事業費(56.6百万円)
- 復興情報発信事業費(22.3百万円)
- さんりく音楽魅力発信事業費(5.0百万円)
- ・震災伝承ネットワーク構築事業費(11.0百万円)
- ・いわて復興の絆コンサート開催事業費(11.1百万円) 他

令和3年度に新設する「復興防災部」等における主な取組

■ 三陸 TSUNAMI 会議(仮称)の開催

国内外の防災力向上に貢献するため、海外の津波博物館との連携による震災伝承をテーマにした「三陸 TSUNAMI 会議(仮称)」を開催し、東日本大震災津波からの復興の取組や教訓等について発信

■ 防災推進国民大会 2021 岩手開催

・東日本大震災津波から10年を経て復興が進む三陸の姿と、地域で高められた防災力の発信・防災教育の推進
・コロナ後の「新しい生活様式」の実践として、IT技術を積極的に活用し、様々な防災関係者がつながる「防災推進国民大会 2021」の本県開催に向けた取組を実施

「復興五輪」を掲げる 東京2020オリンピック・パラリンピックに呼応した施策

- ◎りんどうパワーアップ事業費(5.1百万円)
- 復興五輪ムーブメント推進事業費(264.7百万円)
- ・オリンピック選手等育成・強化事業費(21.8百万円)
- ・パラリンピック選手等育成・強化事業費(6.5百万円)
- ・東京2020オリンピック・パラリンピック情報発信事業費(22.5百万円)
- ・オリンピック・パラリンピック教育推進事業費(5.6百万円)
- ・東北復興文化プログラム推進事業費(6.1百万円)
- ・東北デスティネーションキャンペーン事業費(57.9百万円)
- ・いわて美味しい食の振興事業費(2.7百万円)
- ・いわて食の聖地プロモーション展開事業費(6.3百万円) 他

(2) 「10の政策分野」に基づく施策の推進

I 健康・余暇

生涯にわたり心身ともに健やかに生活できる環境をつくります

- ◎県民総参加型健康度アップ支援事業費(13.1百万円)

必要に応じた医療を受けることができる体制を充実します

- ◎地域医療勤務環境改善体制整備事業費補助(120.4百万円)
- ◎災害、地域精神医学講座設置運営寄附金(10.0百万円)

介護や支援が必要になっても、住み慣れた地域で安心して生活できる環境をつくります

- ◎重層的支援体制整備事業費(30.4百万円)
- ◎障がい者社会参加促進事業費(1.0百万円)
- ◎障がい者就労・社会参加支援事業費(14.6百万円)
- ・みたけの社整備事業費(448.9百万円)

幅広い分野の文化芸術に親しみ、生涯を通じてスポーツを楽しむ機会を広げます

- ◎文化芸術イベント等映像配信事業費(5.8百万円)
- ◎障害者の文化芸術フェスティバル東北ブロック開催費負担金(4.0百万円)
- ◎地域部活動推進実践研究事業費(2.9百万円)
- ◎スポーツを通じた共生社会づくり推進費(3.1百万円) 他

II 家族・子育て

安心して子どもを生み育てられる環境をつくります

- ◎いわての子育て支援情報発信事業費(9.5百万円)
- ◎重層的支援体制整備事業費(16.1百万円)

- ◎保育所等環境整備費補助(38.0百万円)
- いわてで家族になろうよ未来応援事業費(78.9百万円)
- 保育対策総合支援事業費(116.8百万円)
- ・児童相談所整備事業費(宮古児童相談所)(579.0百万円)

仕事と生活を両立できる環境をつくります

- ・いわて働き方改革加速化推進事業費(120.1百万円) 他

III 教育

【知育】児童生徒の確かな学力を育みます

- ◎遠隔教育ネットワーク構築事業費(14.8百万円)
- いわて幼児教育センター(仮称)推進事業費(1.3百万円)
- いわて学びの改革研究・普及事業費(44.1百万円)

【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます

- 岩手県中学校文化連盟補助(2.4百万円)

【体育】児童生徒の健やかな体を育みます

- ◎全国高等学校総合体育大会推進事業費(13.8百万円)

共に学び、共に育つ特別支援教育を進めます

- ・特別支援学校整備事業費(金石祥雲支援学校)(2,035.8百万円)

多様なニーズに応じた特色ある私学教育を充実します

- ◎私立特別支援学校老朽改築支援事業費補助(21.4百万円)
- 私立学校運営費補助(3,392.3百万円)

地域に貢献する人材を育てます

- 科学技術普及啓発推進事業費(6.0百万円)
- 未来のものづくり人材育成・地元定着促進事業費(26.3百万円)
- ものづくり人材確保促進事業費(7.9百万円)
- いわての復興教育推進事業費(56.6百万円)

文化芸術・スポーツを担う人材を育てます

- ◎スキー全国大会少年種別強化事業費補助(5.8百万円)
- いわて競技力向上事業費(141.3百万円) 他

IV 居住環境・コミュニティ

快適で豊かな暮らしを支える生活環境をつくります

- ◎県営住宅活用促進モデル事業費(1.8百万円)
- 水道事業広域連携推進費(46.3百万円)
- 住宅ストックリノベーション事業費(22.2百万円)

つながりや活力を感じられる地域コミュニティを守り育てます

- 活力ある小集落構築支援事業費(3.5百万円)
- 地域おこし協力隊活動支援事業費(2.6百万円)

岩手で暮らす魅力を高め、移住・定住を促進します

- 人口密度向上推進事業費(16.1百万円)
- 地方創生移住支援事業費(68.1百万円)
- いわて就業促進事業費(132.9百万円)

海外の多様な文化を理解し、共に生活できる地域づくりを進めます

- ◎地域日本語教育推進費(9.5百万円)

文化芸術・スポーツを生かした地域をつくります

- ◎日本スポーツマスターズ2022開催準備費(6.4百万円)
- ◎特別国民体育大会冬季大会スキー競技会開催準備費(48.0百万円)
- さんりく音楽魅力発信事業費(5.0百万円) 他

V 安全

自助、共助、公助による防災体制をつくります

- ◎地震・津波危機管理対策事業費(33.6百万円)
- ◎災害情報発信強化事業費(16.5百万円)
- 地域防災力強化プロジェクト事業費(52.4百万円)

事故や犯罪が少なく、安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます

- 地域生活定着支援事業費(28.7百万円)
- 特殊詐欺被害予防対策費(13.7百万円)
- いわて登下校防犯プラン推進事業費(1.0百万円)
- 交通安全広報啓発フォー・アプローチ事業費(1.3百万円)

食の安全・安心を確保し、地域に根ざした食育を進めます

- 食育県民運動促進事業費(1.5百万円)
- 食育推進全国大会開催費(28.7百万円)

感染症による脅威から一人ひとりの暮らしを守ります

- ◎SNS活用型健康づくり推進事業費(6.1百万円) 他

VI 仕事・収入

ライフスタイルに応じた新しい働き方を通じて、一人ひとりの能力を発揮できる環境をつくります

- ◎農福連携応援事業費(1.2百万円)
- ・地域就職氷河期世代支援加速化事業費(5.4百万円)

地域経済を支える中小企業の振興を図ります

- ◎中小企業事業再生支援事業費補助(12.0百万円)

国際競争力が高く、地域の産業・雇用に好循環をもたらすものづくり産業を盛んにします

- ・半導体関連産業創出推進事業費(9.4百万円)
- ・企業立地促進奨励事業費補助(368.6百万円)

地域資源を生かした魅力ある産業を盛んにします

- 伝統工芸産業支援事業費(1.6百万円)
- ・北いわて産業デザイン向上プロジェクト事業費(6.0百万円)

地域経済に好循環をもたらす観光産業を盛んにします

- ・東北デスティネーションキャンペーン事業費(57.9百万円)

意欲と能力のある経営体を育成し、農林水産業の振興を図ります

- 新規就農総合対策事業費(4.5百万円)

収益力の高い「食料・木材供給基地」をつくります

- ◎水田フル活用農業高度化プロジェクト事業費(664.7百万円)
- ◎花粉症対策等採種圃整備事業費(18.2百万円)

- ◎森林クラウドシステム整備事業費(49.1百万円)
- ◎養殖生産技術高度化推進事業費(3.0百万円)
- いわて県有種雄牛利用推進事業費(3.6百万円)

農林水産物の付加価値を高め、販路を広げます

- ◎いわて木づかい住宅普及促進事業費(89.8百万円)
- ◎いわてモーモープロジェクト推進事業費(19.9百万円)
- ◎りんどうパワーアップ事業費(5.1百万円)
- ◎いわて食農連携プロジェクト推進事業費(20.5百万円)

一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります

- ◎いわて森林づくり推進人材育成事業費(3.0百万円) 他

Ⅶ 歴史・文化	世界遺産の保存と活用を進めます ◎ 御所野遺跡世界遺産登録記念事業費 (4.2 百万円)	◎ 平泉世界遺産登録 10 周年記念事業費 (8.5 百万円) ◎ 平泉文化遺産ガイドス施設管理運営費 (103.0 百万円)	◎ 世界遺産登録推進事業費 (69.1 百万円) 他
Ⅷ 自然環境	多様で優れた環境を守り、次世代に引き継ぎます ◎ 森林公園機能強化事業費 (112.0 百万円) ○ シカ・イノシシ捕獲対策事業費 (166.5 百万円) ○ いわて環境の森整備事業費 (760.7 百万円)	循環型地域社会の形成を進めます ◎ 食品ロス削減推進事業費 (0.8 百万円) ○ 循環型地域社会形成推進事業費 (129.6 百万円) ○ 海岸漂着物等地域対策推進事業費 (48.6 百万円)	地球温暖化防止に向け、低炭素社会の形成を進めます ◎ ゼロカーボン推進事業費 (18.0 百万円) ○ 水素利活用による再生可能エネルギー推進事業費 (11.1 百万円) 他
Ⅸ 社会基盤	科学・情報技術を活用できる基盤を強化します ○ いわてデジタル化推進費 (12.4 百万円) ・ 携帯電話等エリア整備事業費補助 (33.8 百万円)	安全・安心を支える社会資本を整備します ○ 砂防事業費 (1,220.8 百万円) 他	・ 国の国土強靱化のための緊急対策は、令和2年度に前倒しして実施 ・ 令和2年度補正予算と合わせた公共事業費については、前年度以上を確保
X 参画	性別や年齢、障がいの有無にかかわらず活躍できる社会をつくります ◎ いわてワーク・ライフ・バランス促進強化事業費 (5.8 百万円)	・ いわて男女共同参画プラン推進事業費 (24.1 百万円)	・ いわて女性活躍支援強化事業費 (11.9 百万円) 他

若者活躍支援

■ 住宅支援
県営住宅の空き住戸における通信環境整備、U・Iターン就職者や新婚世帯向けの新生活支援、県産木材を使用した住宅購入やリフォームの支援、空き家の取得費の一部助成など、单身・結婚・子育てのライフステージに応じた若者への住宅支援を実施

- ◎ 県営住宅活用促進モデル事業費 (1.8 百万円)
- 地方創生移住支援事業費 (68.1 百万円)
- いわてで家族になろうよ未来応援事業費 (78.9 百万円)
- ◎ いわて木づかい住宅普及促進事業費 (89.8 百万円)
- 住宅ストックリノベーション事業費 (22.2 百万円)

■ 「岩手版リバース・メンター制度 (仮称)」 の導入
若者がメンター (指導役) となり、年上の上司・先輩に助言する「リバース・メンター制度」を参考として、若者の視点を踏まえた政策立案を推進

移住・定住、関係人口の拡大

コロナ禍を契機とする地方への関心の高まりを踏まえ、感染リスクの低さに加え、安全に働き、暮らし、学ぶことができる岩手の良さを生かしながら、移住・定住施策や関係人口の拡大を強力に推進

- 人交密度向上推進事業費 (16.1 百万円)
- 地方創生移住支援事業費 (68.1 百万円)
- いわて就業促進事業費 (132.9 百万円)
- 住宅ストックリノベーション事業費 (22.2 百万円)
- ・ いわて移住・定住促進事業費 (33.9 百万円)
- ・ 県外人材等U・Iターン推進事業費 (7.8 百万円) 他

(3) 新しい時代を切り拓くプロジェクトの推進

I ILCプロジェクト ○ ILC推進事業費 (101.2 百万円)	三陸防災復興ゾーンプロジェクト ◎ 三陸観光バス運行支援事業費補助 (7.2 百万円) ○ 復興情報発信事業費 (22.3 百万円) ○ 新しい三陸復興推進費 (22.7 百万円) ○ さんりく音楽魅力発信事業費 (5.0 百万円) ○ 復興五輪ムーブメント推進事業費 (264.7 百万円) ○ 販売チャンネル多様化支援事業費 (2.5 百万円) ○ 三陸沿岸観光新時代創造事業費 (7.4 百万円) 他	北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト ◎ 御所野遺跡世界遺産登録記念事業費 (4.2 百万円) ○ 御所野遺跡等観光資源連携推進事業費 (8.1 百万円) ○ 世界遺産登録推進事業費 (69.1 百万円) ○ 魅力ある北いわての地域づくり推進事業費 (6.0 百万円) ○ 北いわて農産物魅力発信事業費 (3.8 百万円) ○ 北いわて産業振興事業費 (9.0 百万円) ・ 県北広域産業力強化促進事業費補助 (20.0 百万円) 他
北上川バレープロジェクト ○ みらいもりおかプロジェクト事業費 (5.2 百万円) ・ 起業支援推進事業費 (22.5 百万円) ・ 半導体関連産業創出推進事業費 (9.4 百万円) ・ 中小企業総合的成長支援事業費 (78.4 百万円) 他	■ 活力ある小集落実現プロジェクト ○ 活力ある小集落構築支援事業費 (3.5 百万円) ○ 地域おこし協力隊活動支援事業費 (2.6 百万円) 他	■ 水素利活用推進プロジェクト ○ 水素利活用による再生可能エネルギー推進事業費 (11.1 百万円)
その他のプロジェクト	■ 健康づくりプロジェクト ・ 医療等ビッグデータ活用推進費 (20.6 百万円)	■ 人交密度向上プロジェクト ○ 人交密度向上推進事業費 (16.1 百万円) ○ 地域おこし協力隊活動支援事業費 (2.6 百万円) ・ いわてまるごと売込み推進事業費 (31.9 百万円) 他
■ 農林水産業高度化推進プロジェクト ◎ 水田フル活用農業高度化プロジェクト事業費 (664.7 百万円) ◎ 養殖生産技術高度化推進事業費 (3.0 百万円) ◎ りんどうパワーアップ事業費 (5.1 百万円) 他	■ 学びの改革プロジェクト ◎ 遠隔教育ネットワーク構築事業費 (14.8 百万円) ○ いわて学びの改革研究・普及事業費 (44.1 百万円) 他	■ 文化・スポーツレガシープロジェクト ・ 文化芸術振興基盤強化事業費 (18.8 百万円) ・ スポーツ推進プラットフォーム構築事業費 (1.4 百万円) 他

(4) 広域振興圏の施策の推進

■ 広域行政と市町村間連携の推進 ・ 地域経営推進費 (500.0 百万円)	■ 県央広域振興圏 ○ みらいもりおかプロジェクト事業費 (5.2 百万円) ○ もりおか広域連携観光魅力づくり推進事業費 (8.5 百万円) ○ もりおか広域食産業・地場産業戦略的育成事業費 (6.5 百万円)	■ 県南広域振興圏 ○ 平泉の世界遺産登録 10 周年交流人口拡大推進事業費 (10.6 百万円) ■ 沿岸広域振興圏 ○ 販売チャンネル多様化支援事業費 (2.5 百万円) ○ 三陸沿岸観光新時代創造事業費 (7.4 百万円)	■ 県北広域振興圏 ○ 魅力ある北いわての地域づくり推進事業費 (6.0 百万円) ○ 北いわて産業振興事業費 (9.0 百万円) ○ 御所野遺跡等観光資源連携推進事業費 (8.1 百万円) 他
--	--	--	---

2 ふるさと振興の推進

I 岩手で動く ◎ 森林クラウドシステム整備事業費 (49.1 百万円) ◎ 養殖生産技術高度化推進事業費 (3.0 百万円) ○ いわて就業促進事業費 (132.9 百万円) ○ 地方創生移住支援事業費 (68.1 百万円) ・ いわて移住・定住促進事業費 (33.9 百万円) 他	II 岩手で育てる ◎ 保育所等環境整備費補助 (38.0 百万円) ○ 保育対策総合支援事業費 (116.8 百万円) ○ いわてで家族になろうよ未来応援事業費 (78.9 百万円) ・ 子育て応援パスポート事業費 (10.5 百万円) ・ 妊産婦支援事業費 (3.5 百万円) 他	III 岩手で暮らす ◎ いわて森林づくり推進人材育成事業費 (3.0 百万円) ◎ 森林公園機能強化事業費 (112.0 百万円) ◎ 遠隔教育ネットワーク構築事業費 (14.8 百万円) ◎ 地域部活動推進実践研究事業費 (2.9 百万円) ◎ 全国高等学校総合体育大会推進事業費 (13.8 百万円) 他	IV 岩手とつながる ◎ 特別国民体育大会冬季大会スキー競技会開催準備費 (48.0 百万円) ○ 人交密度向上推進事業費 (16.1 百万円) ・ 地域多文化共生推進費 (4.7 百万円) ・ グローバルネットワーク推進事業費 (22.5 百万円) 他
--	--	---	--

令和3年度当初予算における新型コロナウイルス感染症対策関連事業

1 感染拡大の防止 ① 医療提供体制の強化 ▶ 受診・相談センターの設置・運営 ・ 感染症予防費 (1279.9 百万円) ▶ 入院病床の確保などに向けた支援 ・ 新型コロナウイルス感染症重症者等宿泊療養事業費 (1,071.1 百万円) ・ 新型コロナウイルス感染症入院施設等確保事業費補助 (13,494.4 百万円) ▶ 医療機関の再開・継続への支援 ・ 新型コロナウイルス感染症医療従事者宿泊費補助 (125.8 百万円) ・ 代診医派遣体制確保事業費補助 (33.8 百万円) ・ 新型インフルエンザ患者入院医療機関等設備整備費補助 (1,025.0 百万円) ・ 新型コロナウイルス感染症対応医療従事者危険手当支給費補助 (168.4 百万円)	② まん延防止 ▶ ワクチン接種体制の確保 ・ 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費 (31.3 百万円) ▶ 学校等の感染防止対策への支援 ◎ 認定こども園施設整備費補助 (115.2 百万円) ◎ 公立幼稚園等 ICT 環境整備事業費補助 (23.3 百万円) ○ 保育対策総合支援事業費 (31.7 百万円) ○ 地域子ども・子育て支援事業交付金 (87.0 百万円) ・ 新型コロナウイルス感染症対策スクールサポートスタッフ配置事業費 (31.0 百万円) ・ 公立幼稚園等緊急環境整備事業費補助 (7.6 百万円) ・ 全日制高等学校教育活動継続環境整備事業費 (112.8 百万円) ・ 特別支援学校教育活動継続環境整備事業費 (46.4 百万円) ・ 特別支援学校スクールバス感染症対策支援事業費 (45.4 百万円)	▶ 介護施設等の感染防止対策への支援 ◎ 介護施設等多床室個室化改修事業費補助 (48.9 百万円) ◎ 介護施設等ゾーニング環境等整備事業費補助 (194.0 百万円) ・ 介護施設等簡易陰圧装置設置事業費補助 (227.5 百万円) ・ 介護ロボット等導入支援事業費補助 (171.8 百万円) ③ 相談・検査体制の強化・充実 ▶ 情報発信 ◎ SNS 活用型健康づくり推進事業費 (6.1 百万円) ▶ 保健衛生人材の確保 ・ 新型コロナウイルス感染症対策保健衛生人材確保事業費 (53.8 百万円) ▶ 円滑な検査の実施 ・ 地域外来・検査センター整備事業費 (343.8 百万円) ・ 分娩前感染症検査費補助 (12.2 百万円)
2 社会生活・経済活動を支える取組 ① 個人・家族向け (社会生活関係) ▶ 自立相談や社会福祉協議会への支援 ◎ 自立相談支援事業費補助 (7.4 百万円) ・ 生活福祉資金貸付事業推進費補助 (672.0 百万円)	▶ 離職等による収入減により、住居を失った方などへの支援 ・ 生活困窮者自立支援事業費 (住居確保給付金) (3.2 百万円) ② 事業者・団体向け (経済活動関係) ▶ 資金繰りの支援 ・ 新型コロナウイルス感染症対策資金貸付金 (37,333.3 百万円) ・ 新型コロナウイルス感染症対応資金貸付金 (33,333.3 百万円)	▶ 経営指導の強化 ・ 営業施設経営指導費 (34.5 百万円) ▶ 中小企業者等への支援 ◎ 三陸観光バス運行支援事業費補助 (7.2 百万円) ▶ 農業従事者への支援 ◎ 水田フル活用農業高度化プロジェクト事業費 (664.7 百万円)
3 DXによる新しい「働き方」「暮らし」「学び」を進める取組 ① 働き方 ▶ デジタル化や先端技術の活用による生産性の向上等 ◎ 地域医療勤務環境改善体制整備事業費補助 (120.4 百万円) ◎ 森林クラウドシステム整備事業費 (49.1 百万円) ・ いわて働き方改革加速化推進事業費 (120.1 百万円) ・ AI 人材育成・社会実証推進事業費 (3.5 百万円)	② 暮らし ▶ デジタル化や先端技術の活用による利便性の向上等 ○ ヘルスアップ支援事業費 (81.0 百万円) ○ 地域子ども・子育て支援事業交付金 (87.0 百万円) ・ 北いわて未来戦略推進事業費 (7.7 百万円) ・ 科学技術イノベーション活用推進費 (9.1 百万円) ・ 5G等による地域課題解決モデル構築推進費 (6.3 百万円)	・ いわて若者活躍支援強化事業費 (32.6 百万円) ・ いわて医療情報ネットワーク運営費 (50.2 百万円) ③ 学び ▶ ICTを活用した教育の充実 ◎ 遠隔教育ネットワーク構築事業費 (14.8 百万円) ○ 私立学校運営費補助 (3,392.3 百万円)

岩手大学地域防災センターを調査

令和2年12月15日

総務委員会の県内調査において岩手大学地域防災研究センターによる地域防災力向上の取り組みについて、センター長の越谷様からお話を伺いました。当初は工学部附属組織として立ち上がり、震災の翌年から岩手大学の全学組織として再構成され現在に至っています。東日本大震災津波、相次ぐ台風災害、度重なる自然災害から復旧復興にとどまらず、災害に強く、活力あるまちづくりをするためには、参考になるお話を伺うことができました。



冬休み親子県議会教室

令和2年12月26日に県内の小学校、義務教育学校に通う5年生、6年生を対象とした親子県議会教室を開催いたしました。当日は32組66名の親子に御参加いただきました。議場において、議長からのご挨拶をいただいた後、「みなさんと県議会との繋がり」の説明、県議会クイズなどを通じて県議会の役割や県議会議員の仕事を学んでいただきました。その後は議事堂探検や議員とのふれあいトークを行いました。岩手県議会では令和3年度においても8月に親子県議会を実施する予定となっております。皆様の参加をお待ちしております。

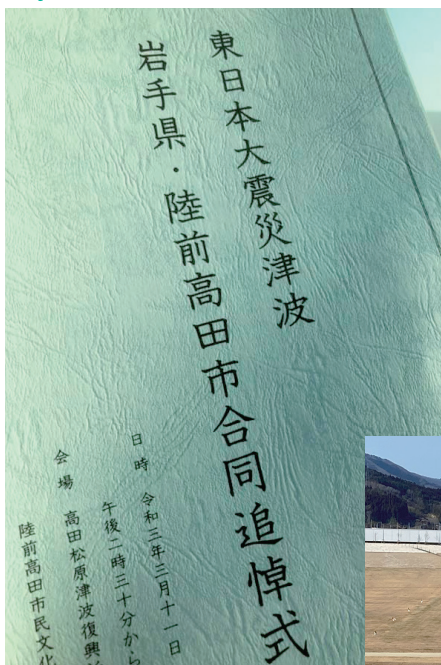


<https://www.pref.iwate.jp/gikai/koho/oyako/1035866.html>



東日本大震災合同追悼式

3月11日
東日本大震災津波岩手県・陸前高田市合同追悼式に出席しました。あれから10年が経過しましたが、犠牲になられた全ての方々に哀悼の意を表しますとともにご遺族の皆様方に衷心よりお悔やみを申し上げます。震災の経験、教訓を未来につなげるべくしっかりと取り組んでまいります。



一般国道340号「押角峠工区」が開通

令和2年12月13日(日)

復興支援道路として平成26年から整備を進めていた一般国道340号「押角峠工区」が開通いたしました。計画区間の延長が、約6.1kmから約3.7kmに短縮され、所要時間が約14分短縮となりました。夜間や冬場は非常に厳しい環境だったものが安心して円滑、確実な通行が可能となりました。しかし開通式でも改めて感じましたがトンネル前後の岩泉側9キロ、宮古側2.3キロは非常に幅員が狭小であり、開通したトンネルの効果を最大限発揮し、また国道340号全体でのスケールメリットを發揮するためにも引き続き前後区間の改良に取り組んでまいります。



事業延長3,700m、事業費11.6億円

県民と県議会との意見交換会

県民と県議会との意見交換会



令和2年12月22日

岩手町で「地域の資源を生かした交流人口の拡大」をテーマに、人の流れや繋がりを生み出す取り組みについて意見交換会を行い、私は座長を勤めさせていただきました。旅行代理店、シェアハウス、DMO、グリーンツーリズム、集落支援員など様々な分野でチャレンジされている方々のお話を伺うことができ非常に勉強になりました。交流人口の拡大ということで観光は一つ大きなキーワードであります。コロナ禍で今後どのように変化していく必要があるのか、地域をより多くの方々とつなげていくためにはどうすればいいのか。今取り組んでいる方々の現状を聞き、全国的な流れも把握しながらしっかりと取り組んでまいります。詳細はQRコードから確認できます。



https://iwatekengikai.gijiroku.com/g07_shiryo5_View.asp?ShiryoID=13

主要地方道重茂半島線完工式



令和3年1月23日

平成24年から整備を進めていた主要地方道重茂半島線の全7工区(延長15.2キロ)の完工式が重茂水産体験交流館(えんやあどっと)で行われました。東日本大震災の津波浸水域を回避し、安全性や交通利便性が向上しました。台風19号の影響により多くの手戻り工事が発生し、完成時期が多少伸びましたが無事に完成いたしました。重茂地区においては台風19号による災害復旧工事も進められている最中ですが、こちらもしっかりと進むよう取り組んでまいります。事業延長15.2キロ 総事業費247億円

